

報道関係各位

2015年4月24日

モリタグループ
ドイツで開催の世界最大級消防防災展「INTERSCHUTZ 2015」へ
水を使用せず、防消火をおこなう消防車「Hobot-mini」を出展
～災害現場の空気から窒素濃度を高めた気体を用いる防消火システム～

株式会社モリタホールディングス

モリタグループは、2015年6月8日(月)～13日(土)にドイツ・ハノーバーにおいて開催される世界最大級の消防防災展「INTERSCHUTZ 2015 (インターシュッツ 2015)」に、水を使用せず、災害現場の空気から窒素濃度を高めた気体(NEA)を造りだし、防消火をおこなう消防車「Miracle N7」のミニチュアモデル「Hobot-mini (ハボット ミニ)」を出展いたします。



「Hobot-mini」は、窒素分離膜とコンプレッサーを搭載しており、駆動源さえ確保できれば、連続的にNEAを放出することができ、水の確保が困難となる大災害時に対応する新たな防消火システムです。展示会場では、災害現場を想定した消火の実演も行います。

この「Hobot-mini」は、昨年9月に発表いたしましたNEAシステムを搭載した消防車「Miracle N7(ミラクル エヌセブン)」をモデルにしたものです。「Miracle N7」は、大規模地震時にも対応する機能を備えた消防車として開発しました。この車両に搭載しているNEAシステムは、既設消防設備のバックアップ消火設備として、また災害時における可燃性ガス発生時の爆発防止(希釈)設備としても使用できます(可燃性ガスの漏洩による危険性が懸念される石油備蓄タンクなど)。

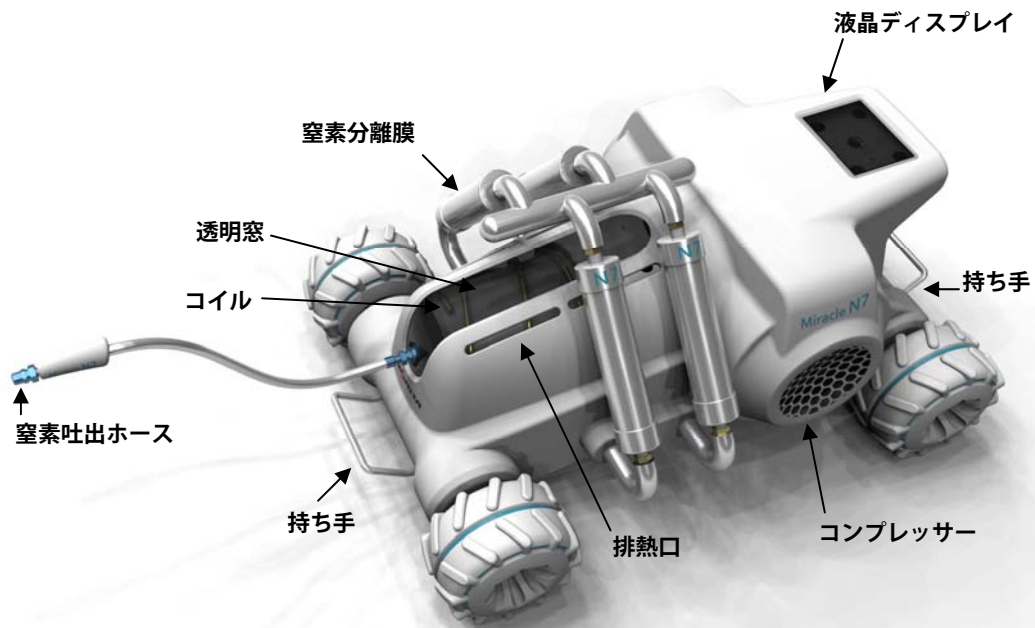
さらに、窒素富化空気濃度がコントロールできるので、短時間では人体にほとんど影響がなく、かつ燃焼できない酸素濃度(12.5%)を維持し、石油備蓄基地や特に水損被害が危惧される博物館、美術館、重要文化財、データセンターなどで燃えない空間づくりへの利活用も可能です。

■ ミニチュアモデル「Hobot-mini」の特長

- ・NEA システムを搭載した消防車「Miracle N7 (ミラクル エヌセブン)」の機能をそのままに、デザインコンセプトは近未来型消防車をイメージしています。
- ・「Hobot-mini」は、賢くて、主人に忠実な可愛い子犬(ハチ公)をイメージしてネーミングしました。



水を使用せず、防消火をおこなう消防車
「Hobot-mini」



- 車両サイズ: 全長 850mm × 全幅 590mm × 全高 450mm
- 車両重量: 50kg
- ホースの長さ: 600mm
- タイヤのサイズ: φ 200 × 112 (外径 × 幅)
- 液晶ディスプレイ: 5.7 インチ

《 INTERSCHUTZ 2015 (インターシュッツ 2015) 概要 》

- 【主催者】 ドイツメッセ
- 【開催期間】 2015年6月8日(月)～13日(土)
- 【場所】 ハノーバー国際見本市 小間番号:M11 (Hall:FG)
- 【出展内容】 「Hobot-mini」、その他消防車等。
- 【リンク】 <http://www.interschutz.de/home> ※英語サイト

本件に関するお問合せ先
株式会社モリタホールディングス 広報室 担当:浦野 TEL:03-5777-5088
E-mail: Hiroko.Urano@morita119.com